

5.22

「デジタル化・DX推進」をテーマに意見交換

次世代産業委員会

次世代産業委員会は、「デジタル化・DX」をテーマに委員会を開催した。

はじめに、「新しい価値の創出とDX」をテーマに、日経BP総合研究所上席研究員の菊池珠夫氏が講演。菊池氏は、企業の価値創造に向けてはDXが大前提になるとし、「DXしないことは、電気を使わないことと同じ」と強調。「総デジタル社会の到来は避けられず、当事者意識を持って取り組んでほしい」と期待を述べた。

続いて、委員企業からの事例発表として、永吉副委員長

(株)神戸デジタル・ラボ代表取締役社長)よりサイバーセキュリティ対策の重要性や、地元企業と連携したDXの取り組みを説明。また、神原副委員長(株)さくらケーシーエス代表取締役社長)からは、電子契約やRPA活用など社内のデジタル化事例を紹介した。

その後、委員会における今後の事業活動について意見交換を行い、引き続きデジタル化・DXやGX、先端技術についての情報提供やビジネスマッチング事業を展開していくこととした。



産業部産業・国際チーム



5.29

兵庫県のスタートアップ支援施策などを紹介

新事業・イノベーション創出委員会

新事業・イノベーション創出委員会は、「兵庫県のスタートアップ支援」をテーマに、起業家育成拠点「起業プラザひょうご」で委員会を開催した。

はじめに、兵庫県のスタートアップ支援施策について、兵庫県産業労働部長の原田剛治氏と新産業課長の前川学氏が説明。「持続的に成長する兵庫を築く上で、スタートアップ支援は県政の一丁目一番地」とした上で、起業家の場づくりや資金支援などのメニューについて解説。今年度より新たに取り組む「ベンチャー型事業承継事業」や

「オープンイノベーション支援プログラム」を紹介し、参加者らに活用を呼び掛けた。

続いて、(株)三井住友銀行公共金融法人部部長の河上哲也氏が、兵庫県との連携や同社独自で実施する支援プログラムの説明を行った。

また、起業プラザひょうごを運営するNPO法人コミュニティリンク代表理事の中西雅幸氏による施設紹介、入居するスタートアップ2社(emol(株)、(株)Godot)からのプレゼンテーションも行われた。



産業部産業・国際チーム



スタートアップ支援に関する
兵庫県の取組

2023年5月29日
兵庫県 産業労働部 新産業課



4.30

日本パラ陸上競技選手権大会を視察

神戸スポーツ産業懇話会 例会



神戸スポーツ産業懇話会は、4月29・30日に神戸で開催された「日本パラ陸上競技選手権大会」の視察会を開催した。

本大会は、来年開催される「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」のリハーサルと位置付けられ、神戸市が運営。当日は、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会会長の増田明美氏より、パラスポーツの魅力やアスリートのトレーニング裏話などの解説を聞きながら観戦し、来年の大会成功に向けた今後の課題を学んだ。

産業部産業・国際チーム

5.16

二宮金次郎の教えを学ぶ

女性会 通常総会・特別講演会



女性会は通常総会を開催し、令和4年度事業報告並びに令和5年度事業計画を承認した。

続いて、リレイト代表の中桐万里子氏を講師に迎え「七代目が語る二宮金次郎～激動の時代を生き抜く秘訣～」と題し、特別講演会を開催。七代目子孫にあたる中桐氏は、「二宮金次郎が説いた心の眼を開く“心眼”の重要性や、享受した徳に報い恩返りする“報徳思想”は現世にも通じる金言」と解説した。

その後の昼食会では、当会会員のほか県内の女性会役員も参加し、相互に親睦を深めた。

会員事業部会員事業チーム

5.10

企業変革のリーダーシップとは

小売商業部会議員会



小売商業部会議員会は、川崎会頭を講師に迎え、「経営改革とトップの責任」をテーマに講演会を開催した。

川崎会頭は、「企業の成長は変化・変革によってのみ達成される」との信念のもと、必ずできると信じて行動することの重要性を指摘。

また、(株)神戸製鋼所の社長時代の変革事例に触れ、「人は無意識のうちに変化を避けようとする生き物。経営トップとして、変化を恐れず、成長のチャンスを手握してほしい」と語った。

中小企業振興部

5.18

国際色豊かな 名刺交換イベントを開催

Spring Meet and Greet in Kobe



在日米商工会議所(ACCJ)、在日フランス商工会議所(CCIFJ)と共催で、初の名刺交換イベントを神戸の眺望を望むANAクラウンプラザホテル神戸36階で開催した。

当日は、ACCJ関西副会頭の川上次郎氏とCCIFJ理事のリュロ・ブノア氏による開会挨拶の後、伊藤副会頭とACCJ関西理事のシモーネ・トムセン氏による乾杯でスタート。100名超の多彩なビジネスパーソンが、英語を交えながら活発な交流を行った。

参加者からは「ネットワークを広げる貴重な機会になったので、定期的に開催してほしい」との声が聞かれた。

産業部産業・国際チーム